



電源装置の取り付け

- [電源モジュールの概要](#) (1 ページ)
- [電源モジュールのシリアル番号の確認](#) (4 ページ)
- [設置に関するガイドライン](#) (5 ページ)
- [AC 電源モジュールの取り付けまたは交換](#) (6 ページ)

電源モジュールの概要

スイッチシャーシには2つの電源スロットがあり、いずれか一方はアクティブな電源モジュール用、もう一方は冗長電源モジュール用として動作します。2台の AC 電源モジュール、または1台の AC モジュールとブランク カバーを使用できます。アクティブなモジュールと冗長モジュールは、同じタイプでなければなりません。

すべての電源モジュールにはファンが内蔵されています。すべてのスイッチは、2番目の電源モジュール スロットにブランク カバーが付いた状態で出荷されます。

メインモジュールは現場交換可能で、冗長モジュールはホットスワップ対応です。冗長電源は、追加の PoE 電力を供給するために使用することもできます。

2つの電源モジュールは、2つの異なるフェーズから給電できます。

次の表に、サポートされる内部電源モジュールを示します。

表 1: 電源モジュールの部品番号と説明

部品番号	説明
PWR-C5-125WAC	125 W AC 電源モジュール
PWR-C5-600WAC	600 W AC 電源モジュール
PWR-C5-1KWAC	1000 W AC 電源モジュール
PWR-C6-125WAC ¹	125 W AC 電源モジュール
PWR-C6-600WAC ¹	600 W AC 電源モジュール

部品番号	説明
PWR-C6-1KWAC ¹	1000 W AC 電源モジュール
PWR-C5-BLANK	ブランク カバー

1. Cisco IOS XE Gibraltar 16.11.1 からサポートされます。

電源モジュール1つだけを搭載するようにスイッチが発注されている場合、すべてのスイッチは2つ目の電源モジュールスロットにブランク カバーを取り付けて出荷されます。

使用可能な PoE および PoE+ の要件については、[電源モジュール](#)を参照してください。

電源モジュールは、100 ~ 240 VAC の入力電圧をサポートするオートレンジングユニットです。AC 電源モジュールには AC 電源コンセントに接続するための電源コードが、それぞれ付属しています。モジュールには、18-AWG コードを使用します。

次の図に、電源モジュールを示します。

図 1: 1000 W AC 電源モジュール

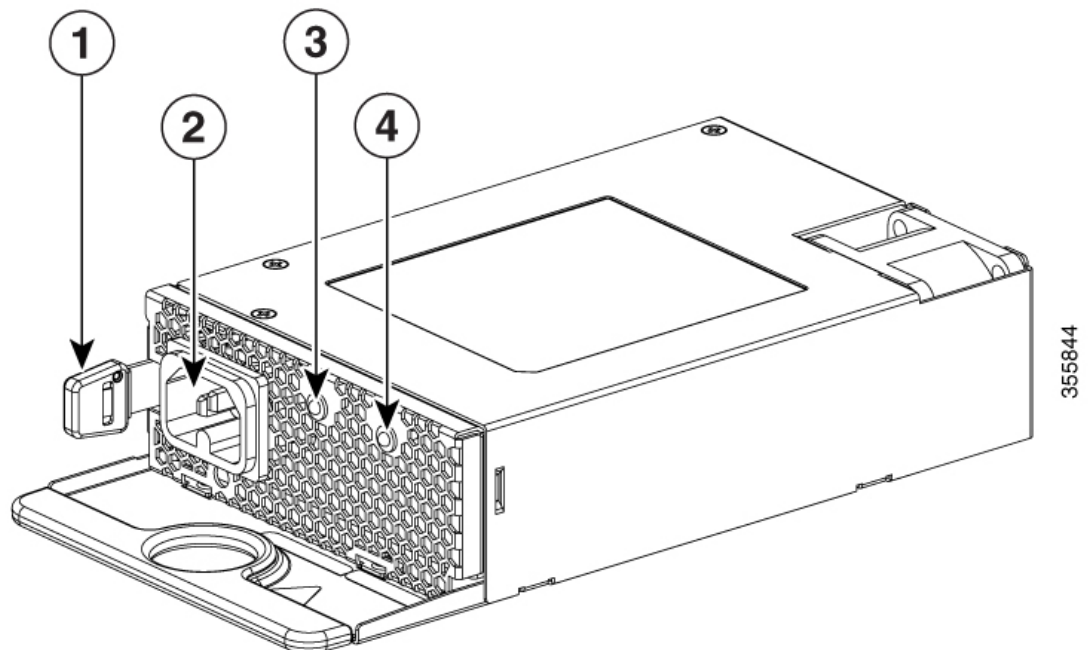
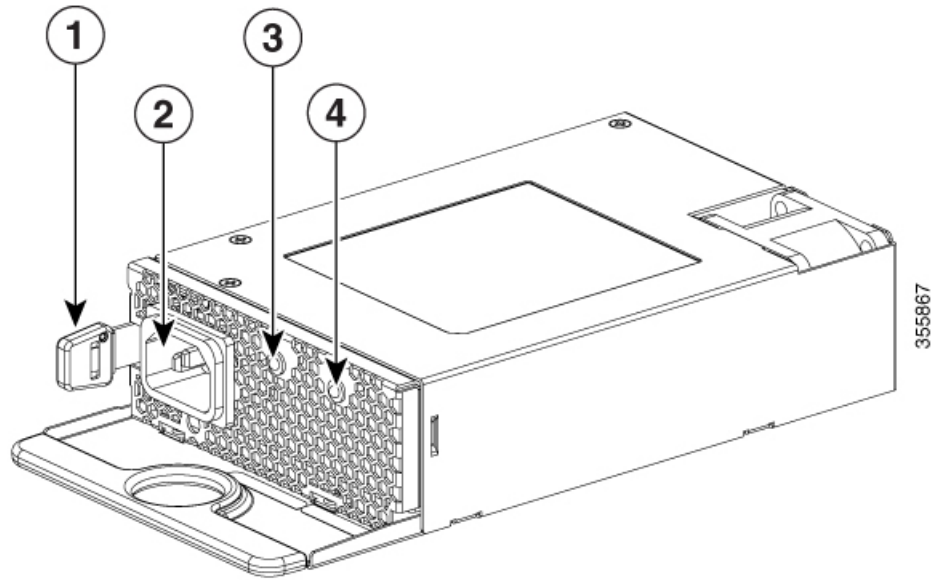


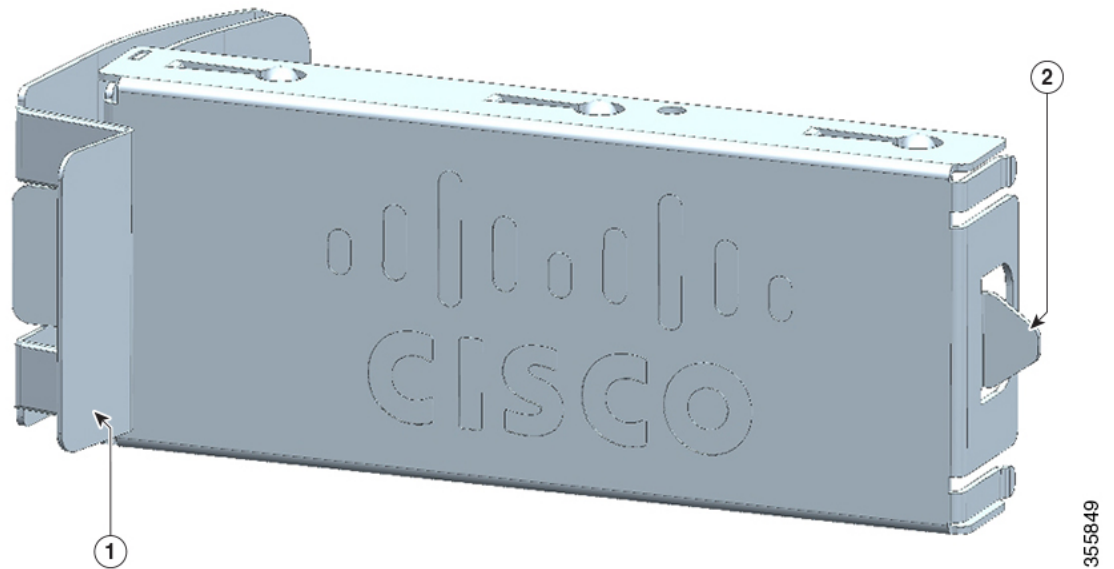
図 2: 125 W AC 電源モジュール



1	リリース ラッチ	3	→] LED
2	AC 電源コード コネクタ	4	←] LED

電源モジュール スロットに電源モジュールを取り付けない場合は、電源モジュール スロット カバーを取り付けてください。

図 3: 電源モジュール スロット カバー



1	リリース ハンドル	2	固定クリップ
---	-----------	---	--------

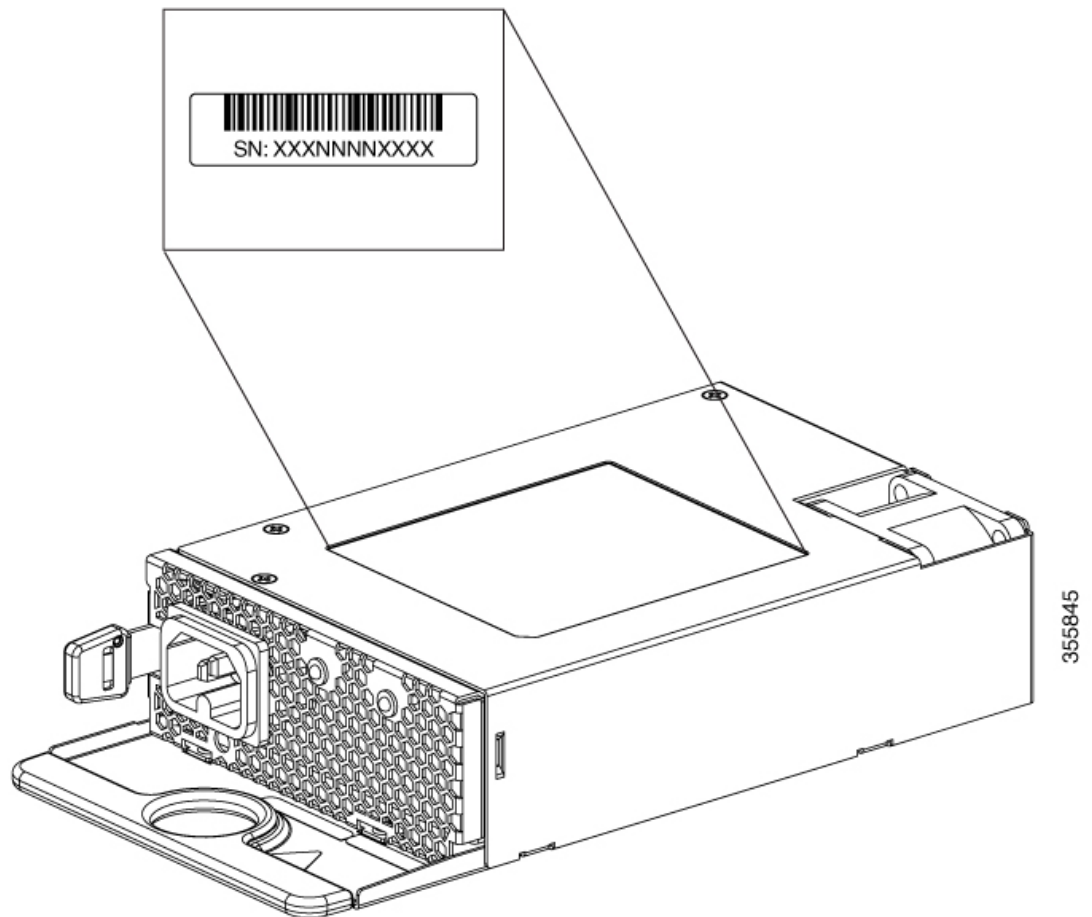
表 2: スイッチ電源モジュールの LED

→]	説明	←]	説明
消灯	AC 電源が入力されていません。	消灯	出力がディセーブルであるか、 入力が動作範囲外です (LED は 消灯)。
グリーン	AC 入力電源が供給されていま す。	グリーン	スイッチへ電力を供給していま す。
		レッド	出力が停止しました。

電源モジュールのシリアル番号の確認

電源モジュールについてシスコのテクニカルサポートに連絡する場合は、シリアル番号が必要です。シリアル番号の場所は、次の図を参照してください。CLIを使用してシリアル番号を確認することもできます。

図 4: AC 電源モジュールのシリアル番号



設置に関するガイドライン

電源モジュールの取り外しまたは取り付け時は、次の注意事項に従ってください。

- 電源モジュールは、無理にスロットに押し込まないでください。スイッチのピンがモジュール側と合っていない場合に、ピンを破損するおそれがあります。
- 電源モジュールがスイッチにしっかり取り付けられていないと、システムの動作が停止することがあります。
- 電源モジュールの電源を遮断してから、電源モジュールの取り外しまたは取り付けを行ってください。
- 電源モジュールは、ホットスワップ対応です。全 PoE+ または電源共有モードなどの一部の設定では、電源モジュールを取り外すと、1 台の電源モジュールの入力電力に合った電

カバジェットになるよう、受電装置がシャットダウンされます。ネットワークの中断を最小限に抑えるためには、アクティブなバックアップが進行中であることを確認します。

電力バジェットを表示するスイッチ コマンドについては、ソフトウェアのコンフィギュレーション ガイドを参照してください。



注意 一方の電源モジュールスロットが空の状態、スイッチを動作させないでください。シャーシを正しく冷却するためには、2つのモジュールスロットに電源またはブランクモジュールを取り付ける必要があります。



警告 この装置は、接地させる必要があります。絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかはつきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

ステートメント 1024



警告 ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。シャーシ内の危険な電圧および電流による感電を防ぐこと、他の装置への電磁干渉 (EMI) の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。

ステートメント 1029



警告 この機器の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。

ステートメント 1030

AC 電源モジュールの取り付けまたは交換

手順

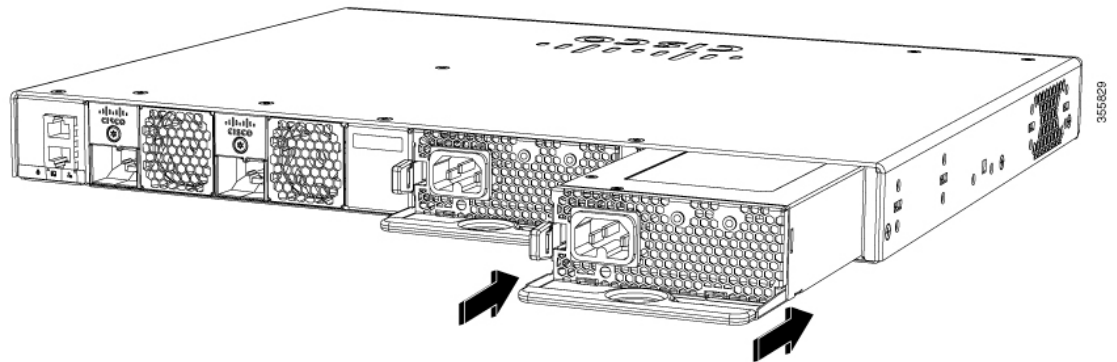
- ステップ 1 元電源側の電源を切ります。
- ステップ 2 電源コードを電源コード保持具から外します。
- ステップ 3 電源コードを電源コネクタから外します。
- ステップ 4 電源モジュール右側のリリース ラッチを押し、電源モジュールを引き出します。

注意 スイッチの動作中は、電源スロットを 90 秒以上空けたままにしないでください。

警告 この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。すべての接続を取り外し、装置の電源を遮断する必要があります。ステートメント 1028

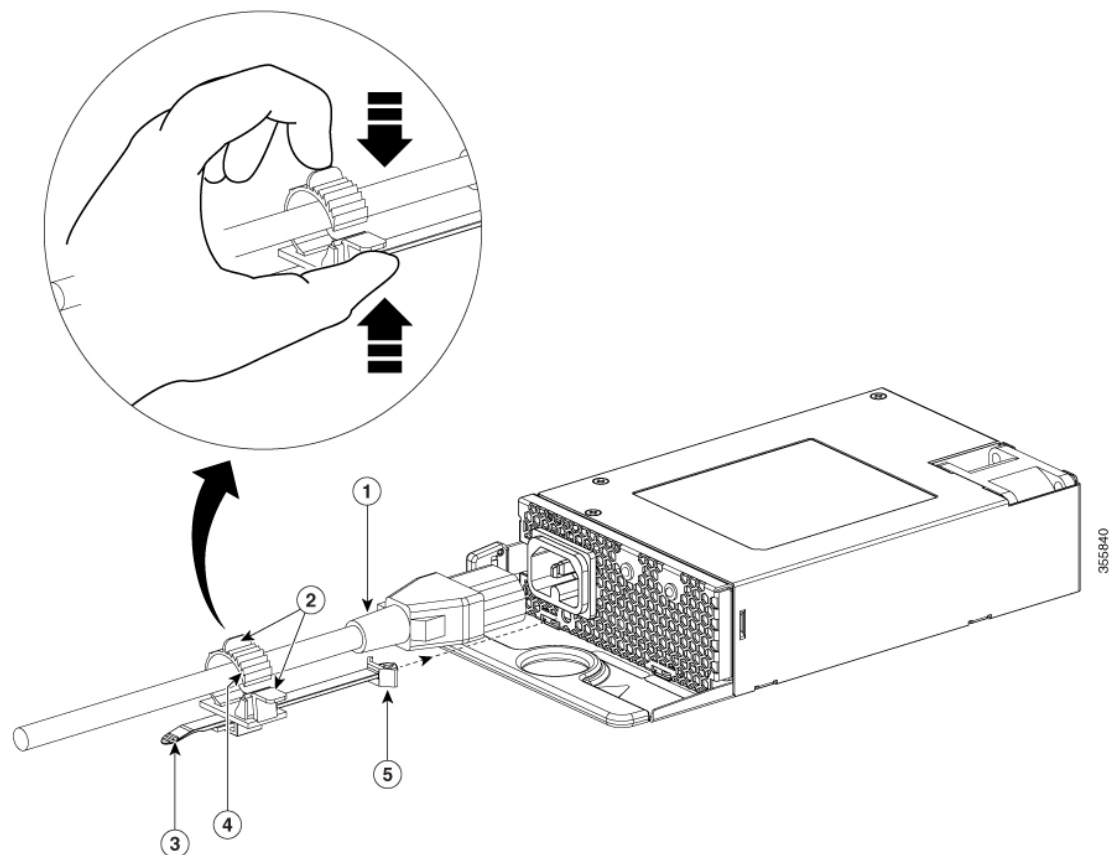
ステップ 5 新しい電源を電源スロットに差し込み、スロットの中にゆっくり押しします。正しく挿入されれば、電源モジュール（電源コード保持具は含まない）は、スイッチの背面パネルと面が揃います。

図 5: スイッチへの AC 電源モジュールの取り付け



ステップ 6 (オプション) 電源コードリテーナを次のように取り付けます。

図 6: 電源コード保持具を装着した AC 電源



1	電源コード	4	リテーナ クランプ
2	リテーナクランプのタブ	5	電源モジュールに固定されたストラップ端
3	電源コードリテーナストリップ	-	-

- 電源コードリテーナストラップを電源モジュールに固定し、クランプを所定の位置に保持します。
- AC 電源コードの周りのリテーナクランプをスライドさせて、電源にできる限り近い位置にリテーナを配置します。

(注) 電源コードの幅に応じ、必要に応じてリテーナクランプのサイズを調整します。

- リテーナクランプのタブを相互に押し付けて AC 電源コードを固定します。

ステップ 7 電源コードを電源モジュールに接続してから AC 電源コンセントに接続します。元電源側の電源を投入します。

ステップ 8 電源の [→] と [←] の LED が緑に点灯していることを確認します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。